

令和2年度吹田市肺がん検診精度管理委員会 議事録（要約）

- 1 日時：令和3年（2021年）2月17日（水） 午後2時～2時30分
- 2 方法：Zoomミーティングを利用したWeb会議
- 3 会場：吹田市立保健センター3階特別会議室
- 4 出席委員：
相馬 孝委員、辻井 健一委員、伴 秀利委員、長 澄人委員、
横内 秀起員、高橋 雅士委員、川西 克幸委員（欠席委員なし）
- 5 市出席者：
柴田 敏之保健所長、岸 敏子センター長、村山 靖子参事、黒田 雅子主幹
飯田 郁主査、中山 佳奈主任、北川 幸子係員
- 6 会議内容
 - (1) 委員紹介
 - (2) 委員長選出
互選により、辻井委員が選出された
 - (3) 報告・周知事項
 - ア 吹田市肺がん検診・結核検診実施状況について
・事務局より、資料p1～p8、p11～p13説明
<質疑>
・A委員より…肺がん検診受診状況について（表1-1）、令和2年度は半年分にはなっているが、2,440人とかなり少なくなっているのはコロナの影響か？
➡（事務局より）そのとおりで、4～5月が例年より半数くらいの受診者数となっている。
 - イ 令和2年度 肺がん検診チェックリスト集計結果について
・事務局より、資料p9～p10説明
（委員からの意見はとくになし）
 - ウ その他
・事務局より、令和3年度からの受診勧奨の方法について説明
平成28年度から胃・肺・大腸・乳がん検診では40歳から60歳に、子宮がん検診では20歳から60歳に圧着はがきによる受診勧奨を実施していたが、令和3年度からは受診率向上のために国立がん研究センターなどのエビデンスに基づき、受診勧奨資材や対象者を見直すことを検討している。
現在送付について検討している対象者は、各がん検診の受診可能となる最初の年齢

の方と、大阪府が設定する重点受診勧奨年齢を含む 70 歳までの偶数年齢の方で過去 5 年間に受診履歴のある人を予定している。また、検診早わかりガイドの全戸配布やラインによる受診勧奨も実施していく予定。

<全体を通しての意見>

・B 委員より…医師会に受託している二次読影で、A I による診断を有する機器を導入する方向で考えている。二次読影にあたっていただく先生の参考になるかと思う。

・A 委員より…大変きっちりした肺がん検診をされている。(吹田市の肺がん検診では)一次読影の時点で d、e と判定した場合は、そのまま精密検査としており、一次読影の先生方の読影力がかなり担保されていないとこのフローチャートは作れないと思った。また見つかったがんもたくさんあり、早期腺がんの率が高いのが印象的。要精検率は 3 %を超えているところが多いけれど、この程度は許容範囲と考えている。

また報告書のがんの分類で、小細胞がんという名前が残っているが、現在、分類で神経内分泌腫瘍に入っているのを参考にしていただければと思う。

以上